会瀬小学校からのお知らせ

夏休みもみんなで見守るよ

7月21日（火）から8月31日（月）まで、42日間の夏休みになります。

学校では、安全な生活を送るために、次のような指導をしていきます。

地域の皆様、子どもたちの姿を見かけたら、「みんなで見守っているよ。」と一声をお願いします。

【子どもたちへの約束】

・朝9時までは、おたがいに遊びにさそわないようにしよう。
・外出するときは必ず「行き先・帰る時刻・一緒に行く人の名前」を家の人に知らせよう。
　行き先にふさわしい身だしなみで外出しよう。
・海水浴場以外での海水浴はしない。（大人と一緒に行く。）
・花火は子どもだけでしない。（大人と一緒に、あとしまつをきちんと）
・危険な場所では遊ばない。鉄道線路上、工事用の資材置き場
・エアーガンなど危険な遊びはしない。　・キックボードやローラーシューズは、危険な場所や人の迷惑になる場所では乗らない。
・自転車は必ずヘルメットをかぶって安全に乗ろう。
（道路は、4年生以上）
・大ぜいの人が集まる場所、危険の予測されるところ、学区外へは、子どもだけでは行かない。
　大人といっしょに行こう。
・子どもだけで外泊はしない。
・ゲームソフトやカードなどの売り買いは禁止です。
・携帯電話・パソコンなどはおうちの人に話してから使いましょう。

※何かありましたら、会瀬小学校に連絡をお願いします。

【会瀬小学校　℡0294-35-6528】

育成会親睦会ソフトバレー大会

5月16日(土)に会瀬学区子ども会育成会の親睦ソフトバレーボール大会が会瀬小体育館で開催されました。子ども会育成会と先生チームの6チームで熱戦が繰り広げられました。結果は、よつ葉子ども会が優勝し、見事9連覇を達成しました。準優勝はTEAM ALLOW（先生チーム）、3位に日の出東町子ども会、あゆみ芳原/潮音子ども会連合チームとなりました。

今後とも子ども会活動へのご理解とご協力よろしくお願いします。

子ども会育成連合会　通澤健一

優勝は9連覇　よつ葉子ども会

子ども会球技大会

6月7日(日)に子ども会球技大会が開催されました。前日の雨が嘘のような晴天に恵まれ、6単会から7チームによる激戦が繰り広げられました。結果は、ひかり子ども会（ミラクル）が見事優勝しました。準優勝はよつ葉子ども会3位は日の出東町子ども会となりました。

優勝　ひかり子ども会（ミラクル）

準優勝よつ葉子ども会

「ふるさと会瀬」から　会瀬旧述　その二

会瀬浦は岩礁にかこまれている。大正2年（1913年）から4年にかけて築かれた154mの南防波堤は七夕磯を利用し鵜島につなぐ堤防である。陸地から磯の先端にある夫婦石まで約1kmの岩礁地帯が七夕磯である。この磯から北に延びる岩礁の先に築島（現在の青少年の家グランド東から沖にのびる堤防の先端にあった島）があった。この島から岸に67mの北防波堤が大正7年（1917年）に築かれた。舟入り海岸から続く岩礁と北防波堤の間が会瀬の船溜まりへの出入り口であり昭和10年代まで標識灯が舟入り岩礁に設置されていた。津神社がある伊勢崎（初崎）のがけ下には広い平坦な岩礁があった。この岩礁は初崎の磯へと繋がっている。人工の堤防を除いて会瀬浦を俯瞰すればいかに磯に囲まれた浦か想像できよう。まして6月の干潮時、特に大潮の景観は素晴らしいものであった。会瀬旧述には優れた自然美を伝えようと伝説を含めて会瀬浦と磯について克明に記されている。

七夕磯にある、数多い岩石の名称で昭和に伝えられていたのに大門崎がある。現在の浜町橋の先にある磯で、長大な七夕磯の入り口にあたるので大門（おうもん）と名付けられた。

会瀬旧述に、磯に絡む五奇談が記されている。

一　岩崎洞鳴　会瀬の南に続く崖に洞穴がある。風雨が強く大波が洞穴に打ち付けると、雷が轟くような音が聞こえる不思議な場所だ。

二　神磯鳴物　鵜島（今は蛸島）の近くで三味線や笛の音が聞こえたり,鼓の音が聞こえたりするので浦の人は神磯と言っている

三　中江奇岩　伊勢浦（現在の舟入り海岸）の渚近くに尖った大きな岩石があった。登ると怪我をし、病気になるので神がやどっている石という。

四　麓磯の水巻　伊勢崎の下磯（現在の津神社先）に釜のような大きな岩が三つあり、波が入ると渦を巻くので津の神の手洗い場という。

五　初崎磯壺　初崎磯に周囲を岩礁に囲まれたプール状の場所がある。磯壺と言い水深もあり夏などは水温も上がり自然の潮湯治場になった。大きな水たまりから「たまり」が濁って「だま」となり初崎海岸の絶好の遊び場となった。

水戸藩主徳川光圀は諸国の海産物を取り寄せ後世のためにと会瀬浦の磯に放したと記されている。千葉房総から「あわび」「とこぶし（小あわび）」「さざえ」。宮城金華山から「なまこ」。北海道松前から「こんぶ」。仙台から「まつも」等。現在、姿を見ないのは「さざえ」と「こんぶ」で他は会瀬の磯で確認できる。

日立市社会福祉協議会

会員募集のお願い！

日立市社会福祉協議会は、「誰もが安心して安全に暮らせるふくしのまちづくり」を進めるため、市内全域で「会員募集」を行っています。

会瀬学区は、本年度も協力し、コミュニティ推進員の方が会員募集活動を行います。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

加入は任意です

●募集期間　7月1日～7月31日
●会費額　500円（目安）

平成26年度の会瀬学区の会費額（5地区合計加入額）は490，900円でした。
―ご協力ありがとうございました―

会費の一部は、会瀬学区の福祉活動に還元されます。

会瀬学区福祉教育相談

悩みごと相談　・困りごと相談を受けています

家族のこと・子どものこと・近隣関係
健康問題・介護の問題等の相談を受けています
一人で悩まないで、まず、電話をください。
相談無料・秘密は守ります、気楽にご相談ください。

相談を受ける人
皆川 悠美子（会瀬学区福祉教育相談代表）
皆川 直司（会瀬サッカー少年団団長）
渡邊 さち子（会瀬学区民生委員代表）
鈴木 裕子（会瀬学区主任児童委員）

相談は電話でも面談でも受けます。ただし相談員の時間の都合がありますので、まず、電話で問い合わせをしてください。
問い合わせ個人代表電話　二一・五〇九一（皆川自宅）
問い合わせ電話　二五・一五七七（交流センター）